

2023年10月12日

## FIE 用具規程 (m)の変更に伴う大会への適用について(追記)

公益社団法人 日本フェンシング協会  
ル ー ル ・ 審 判 委 員 会

2023年全日本選手権大会(団体戦)以降、(公社)日本フェンシング協会主催大会及びシニアFJEポイント大会においてはFIE用具規程に則り、下記規程を適用する。

※一部大会(ジュニア・カデ・ミニム等)については当該大会の要項に準ずる。

### <シニア大会について>

用具規程【最新のFIEルールを適用】

- FJEポイント対象大会
- 全日本選手権大会(個人戦・団体戦)
- 国民スポーツ大会(成年の部)

### <高校生以下の選手が上記の大会に出場する場合>

用具規定【2023年10月12日から適用】

※ブレードを除く

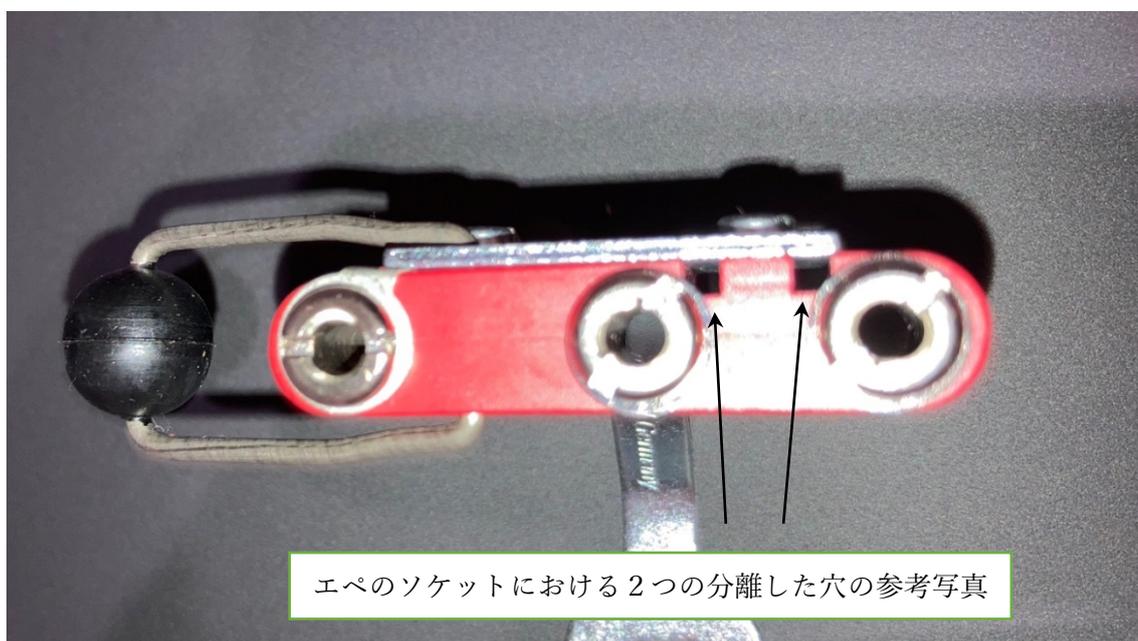
- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| ・ユニフォーム(上下) | 350N以上またはFIE公認マーク付き(800N) |
| ・半袖プロテクター   | FIE公認マーク付き(800N)          |
| ・マスク        | FIE公認マーク付き(1600N)         |
| ・サーブルクローブ   | FIE公認マーク付き(800N)          |
| ・ボディコード     | FIEルール                    |
| ・エベソケット     | FIEルール                    |

### <ミニムについて>

用具規定【当該大会の要項に準ずる】

【別添1】

1. エペのガード内側のソケットにはブロックの中で2つの分離された穴がなければならない。従って、2本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようになる。(FIE 用具規定 m. 18.3 参照)
2. ボディワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディワイヤーのプラグに装備されてなければならない。(FIE 用具規定 m. 29.1.b 、 m. 31.2 参照)



【別添2】

## 〈サーブルのブレードについて〉

2023年10月12日現在

使用可能なブレードは以下の通りです（参考）

●東京フェンシング商会

品番・品名：3057 マラジン TF

●東京フェンサーズ

品番・品名：316 レオンポール APEX FIE サーブルブレード

●KFE

品番・品名：S0705U ウルマン/PBT FIE サーブルブレード

品番・品名：SB0017 フランチャーニ FIE サーブルブレード

※上記以外のブレードの場合、「FIE」、「M」または「Maraging」のいずれかの刻印があること。

※エペ及びフルーレのブレードは、「FIE」の刻印があるブレードを使用すること。